

男女共同参画

セカンドライフを充実したものに！

企画課男女共同参画推進室

☎ 23 | 3 9 1 7

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、老年人口（65歳以上）は増加の一途をたどり、7年後の平成36年には総人口の3割を超え、70歳～74歳世帯に占める「夫婦のみ」の世帯は4割近くになると推測されています。これは、定年退職した後、多くの人が「夫婦だけの生活」を過ごすことを意味しています。

老年人口の増加は、日本の経済成長を支えてきた「団塊の世代」が65歳以上となつているためです。この世代の男性は、長時間労働は当たり前、家庭や地域活動は妻に任せつきりというケースが少なくなく「男性は仕事」「女性は家事や育児」といった固定的な性別役割分担意識が現在よりも強かつた世代です。

夫婦でのセカンドライフをより充実したものにするためには、新たなパートナ

ーシップが必要です。夫婦はかけがえのない存在であり「夫婦ふたり」という小さな世界でもあります。「夫だから」「妻だから」という考えに縛られる前に、個々の生活を尊重し合うことが大切です。夫婦でこれまで固定していた役割を見直すことで、それぞれの趣味を楽しんだり、これまでの経験や知恵を地域活動に生かしたりと、活動の場が広がるはずです。また、家事などを分担することで、新たな時間も生まれるかもしれません。

仕事には定年があつても、家庭生活に定年はありません。お互いが充実した時間を過ごすことで「ふたり」という小さな世界は何倍にも広がりをもちます。「男女共同参画」を生活に取り入れ、より充実したセカンドライフを過ごしましょう。

